

在宅酸素療法時における火災予防上の留意事項について

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、在宅酸素療法を行う自宅療養者が増加しています。

在宅酸素療法に使用する酸素濃縮装置、液化酸素装置及び酸素ボンベ（以下「酸素濃縮装置等」という。）の使用中に、喫煙等火気使用が原因と考えられる火災が発生していることから、在宅酸素療法を行う際は、酸素吸入時の火気の手扱いについて、次のことに十分注意してください。

1. 高濃度の酸素を吸入中に、たばこ等の火気を近づけるとチューブや衣服等に引火し、重度の火傷や住宅の火災の原因となります。
2. 酸素濃縮装置等の使用中は、装置の周囲 2 m 以内には、火気を置かないで下さい。特に酸素吸入中には、たばこを絶対に吸わないで下さい。
3. 火気の手扱いに注意し、取扱説明書どおりに正しく使用すれば、酸素が原因でチューブや衣服等が燃えたり、火災になることはありませんので、過度に恐れることなく、医師の指示どおりに酸素を吸入して下さい。

[【総務省消防庁 HP】在宅酸素療法時における火災予防上お留意事項について.pdf](#)